

JPWA NEWS

— 一般社団法人日本フォトウエディング協会 2021年春号

SPRING
2021



門司港レトロ（北九州市）

関門海峡の北九州市側に位置する門司港地区には、明治・大正時代の雰囲気が残るノスタルジックな街並みが広がっている。

門司港は1889（明治22）年に開港。1916（大正5）年には外国貿易船の出入港数が横浜や神戸を抑えて首位になり、金融機関、商社が相次ぎ進出。日銀や税関なども拠点を置く経済の中心地となった。市が中心となり街づくりや観光整備を主導してきた。

コロナ禍で伸びた フォトウエディング

国内フォトウエディング市場の現状

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大懸念と自粛要請、緊急事態宣言の発出により、私達の生活は大きく変わりました。日本国内のウエディング業界全体も影響を受け、ウエディングに関わる様々な業種で状況が一変しました。そのコロナ禍において、フォトウエディング市場規模は活発に拡大しており、ウエディング業界でも注目されています。

フォトウエディングに関してコロナ禍で大きく変わったのは、ウエディング業界とお客様の意識と言えます。今までフォトウエディングといえば、結婚式をしないカップルが「ナシ婚」と呼ばれ、その代わりに結婚の記念を写真に残すものというイメージが強くありました。もしくは、結婚式を挙げるカップルが「前撮り」として結婚式場のプランとは別で、結婚式当日のウエルカムスペースに飾る写真や、ムービーの素材用にと、ロケーション撮影をするといったイメージが強かったと思います。

フォトウエディングのような「飲食を伴わない」結婚のスタイル

しかし、コロナで結婚式が出来ない今、「結婚式はいずれやるつもりだけど、今はできないのでまずフォトウエディングをしよう」という客層が圧倒的に増えてきているのです。結婚式をする、しない、するだろう、するつもりだ、に関係なく、まず最初に写真を撮ろうとフォトスタジオを探すカップルが増えたということです。こうした意識の変化、ニーズに対応して取り組んでいかなければいけません。

フォトウエディング市場の拡大は、写真業界にとっては良いニュースです。そして、コロナ禍において影響を受けるウエディング業界全体の市場の底上げを狙うためにも、フォトウエディングを活用した商品開発、サービスを作り上げることが、今求められています。

ニューノーマルなウエディングスタイルへと

コロナ禍におけるニューノーマル。フォトウエディングの可能性

「密閉を回避して」、公園や開放的なロケーションで。

「密集を避けて」、両親や親族を含めて最小人数で。

「密接を避けて」、飲食を伴わない挙式＋フォトウエディング。

日本のウエディングは、いま大きな転換点を迎えて

今、ウエディング業界は変革の時を迎え、ニューノーマルを意識した様々なウエディング商品開発が行われています。写真からの新規客層の来館接点を期待できる結婚式場はチャペルでフォトウエディングができるプランや、挙式とフォトウエディングのような飲食を伴わないプランなど。フォトスタジオを運営する事業者も撮影セットを何面も持つフォトウエディング専門のフォトスタジオをニューオープンするなど消費者のニーズに合わせてフォトウエディングも多様化しています。

「インバウンドウエディング」ブランディング観光誘客の推進

日本の観光ブランド、「ジャパンウエディング」を世界へ

昨年2月に発生した新型コロナウイルスの世界的な蔓延による影響で、政府は対策として入国後14日間の待機措置等を行うことにより、日本と外国との観光での往来が事実上完全に遮断された。

しかし外国からの予約・問合せが全く入っていないわけではない。新型コロナ収束後あるいは日本へ往来可能になれば、すぐにでも日本でフォトウエディングや結婚式を挙げたいと希望しているカップルが情報収集にと問い合わせが入ってきていることをみても、ウエディングの目的地としての日本の需要、人気は引き続き非常に高いことが窺える。

新型コロナが終息に向かいフライトが復活すれば、訪日ウエディング旅行をしたいという大きな市場が

存在していることは間違いない。

日本の観光ブランドは、安心、安全、快適の3つに基づいていると言える。コロナ禍においてもこの3つは重要視される。今回のコロナ禍を経て、ウエディングツーリズムがこれまでの広範囲の周遊型サービスから、より安心、安全を理由に、一定のエリア内に長期的に滞在するような快適を求めた高単価型のサービスにシフトすることも考えられる。

全国各地で新型コロナ収束後を見据えた訪日プロモーション事業は、今できることの中で動いている。香川県のプロウエディングツーリズム事業はその中でも積極的であり、日本のウエディングディステーションの先進地への確立へと向かっている。

”訪日旅行に対する意識調査”

【調査対象国：中国】

大半の国のユーザーが新型コロナ収束後、安全と判断できたなら訪日旅行したいと考えており、訪日需要が急激に無くなることは無いと考える。調査対象はウィーチャットのユーザー145人。終息後の旅行意欲は、「行きたいところに行く」との回答が48%とほぼ半数を占め、「観光産業支援のためにも積極的に旅行する」などを含めると、約8割が積極的。行き先として海外旅行を優先すると答えた人に行きたい国・地域を尋ねたところ、44%が日本を選んだ。2位がタイの12%、3位が欧州の7%となっており、圧倒的に人気が高い結果となった。

訪日旅行については、58%が中国政府や日本政府が安全宣言を出したら行きたいと回答。引用：ITP

香港ウエディング展示会の再開

香港では年に10回のウエディングの展示会が行われていたが、新型コロナウイルスの影響で、昨年より延期の発表が繰り返されており、コロナ感染状況の様子を見ながら開催の判断をするという状況であった。

今年に入ってから安定した開催を目指し、香港ウエディング展示会を主催するオーガナイザー2社も遅れを取り戻すかのように展示会を開催している。

今年の3月より、約2週間おきに延期していたウエディング展示会を開催、5月以降は通常の開催スケジュールに戻り開催を予定しているとのこと。



フォトウエディングでの取り組み 「天空の絶景スポットでフォトウエディング」 香川県フォトウエディング事業

コロナ禍において、現地プロモーション等が制限される中、訪日インバウンド再開後に向けての取り組みの動きは盛んになってきている。香川県では前年度に、他地域との差別化や県のブランド化を図るため、フォトウエディングコンテンツ、モデルコースを造成した。

そして、それらを活用して、アート、島旅などをフックにウエディングの目的地としての「香川」「瀬戸内」のブランド構築と認知度向上、誘客へとつなげていく。

The Feature "香川県"

天空の絶景スポットでフォトウエディング



1



2

香川県内には、「絶景の..」や「天空の..」と呼ばれるフォトウエディングに適したフォトスポットが数多く存在する。アートや島々を巡る旅と組み合わせると長期滞在型のウエディングツーリズムへと繋がる。

①父母ヶ浜「天空の鏡」。父母ヶ浜は、香川県西部の三豊市にある約1kmのロングビーチを誇る美しい海岸で、「日本の夕陽百選」にも選ばれています。潮が引いたときの干潟に潮だまりが波の影響を受けないため、鏡のように水面に反射して写り、上下対称の美しい風景の写真が撮れます。この光景が、世界的な絶景地として名高いボリビアのウユニ塩湖に似ていると評判を呼び、いつしか「日本のウユニ塩湖」と言われるようになりました。

②高屋神社「天空の鳥居」。絶景のパワースポットと呼ばれる「天空の鳥居」のある本宮は、標高404メートルの稲積山（いなづみやま）の頂上にあります。本宮の鳥居からは観音寺市内と美しい瀬戸内海が一望できます。



3

他にも観光コンテンツは豊富。またそれらのコンテンツもウエディングやカップル旅行との親和性も高い。
オリーブ園での撮影も香港人が好むテイストの写真が撮れると人気のトレンドスポット。
③は高松市内から車で40分程の場所にあるオリーブ園。香

川県内にはその他にも「魔女の宅急便」のイメージで撮影ができるスポット小豆島もある。ハウキに乗ってジャンプする写真などSNSで人気の定番スポット。

④は同じく映画撮影地で有名な高松市内屋島にある屋島駅舎。建物自体がピンクで写真映えるスポット。



4

Report



香川県内という一定のエリアに、様々な魅力的な観光要素を持つフォトスポットを巡ることができた。それらのスポットを5つのエリアでグループ化、それぞれのスポット間の移動も1時間以内とアクセスの良さも重視して選定、1日で2～3箇所のロケーション撮影を巡ることを想定、撮影日以外の観光目的地を含めた、連泊で滞在するモデルコースの提案を行った。

写真：栗林公園



福岡県北九州市、レトロな街並みが人気の観光地にある三井倶楽部。建物内での撮影も可能で、一室貸切で撮影にも集中でき、落ち着いて撮影できる。



1

シニアフォトウエディング

「フォトウエディング」を新たな「まちづくり」へとつなげる

若者を中心に結婚式に対する意識の変化、写真SNSの流行、時代の流れと共に広がってきた「フォトウエディング」という結婚式のスタイル。結婚の証として、ふたりの思い出の場所や景観の良い自然の中、日本の伝統的な場所である城や庭園などで婚礼衣装を着て撮影を楽しんでいます。

この「フォトウエディング」を使って「まちづくり」へつなげる先進的取組が始まっています。地域ブランディングによる「まちづくり」では、その地域でしか体感することが出来ない体験を、どこまで提供できるかが重要な要素であり、またニーズにあった戦略も求められます。



2

日本には全国に神社、日本庭園、公園、様々なテーマでの観光地や施設があり、どこの地域でも独自性を持った「まちづくり」のための「フォトウエディング」を打ち出すことができます。そして「フォトウエディング」は若者だけのものではなく、その対象は結婚の周年記念で撮影を楽しむシニア層へと広がっています。

一般社団法人福岡県北部古民家再生協会が実施したシニア層に向けたフォトウエディングの取組は、まさに将来に向けた「まちづくり」につながるモデルケースとなった。

今後はターゲットであるシニア層になにを訴求して需要を喚起できるか、「シニアフォトウエディング」の認知向上を図りながら、地域の特性や魅力を読み取って、地域独自の世界観をしっかりと提示することができるかが重要となってくる。

高齢化、人口減少ペースが加速する我が国の地域経済にとっては、地

域の観光資源と先進的取組をマッチングした提案を発信していくことで、地域の賑わいを取り戻すことにつながるなどの効果がもたらされます。

広い世代を対象としたフォトウエディングの取組は「まちづくり」政策の一環として大きな可能性を秘めているのです。

組織的視点でどうやるかを官民一体となり整備していくことがポストコロナ時代においても重要な「まちづくり」戦略となるであろうと考えています。

ウェディングドレスを着て、城の前でポーズをとるご夫婦の周年記念のフォトウエディング。城のロケーションには和装でといった固定観念的なものはなく、自由に楽しまれている様子だった。撮影中に「おめでとうございます」と声をかけられる場面もあり、撮影前は緊張していたふたりもすぐに緊張が解け、楽しんでいたのが印象的だった。

[写真 1左ページ]、三井倶楽部
[写真 2]、小倉城庭園
[写真 3]、山田緑地
[写真 4]、小倉城



3



4

トレンドを取り入れたフォトウェディングスタジオの取り組み

青森県弘前市「studio Botan / スタジオボタン」

「選べる楽しさがある、11のスタジオセット」



(撮影:西谷詩織)

新たな価値を伴った結婚写真をお届けしたい。その願いから花嫁が最も美しくドラマのワンシーンを切り取ったような写真になるよう研究し造り上げた東北最大級のフォトスタジオが昨年11月にオープンしました。



(撮影:西谷詩織)



東北最大級のフォトウェディングスタジオは、日本フォトウェディング協会監修で、スタジオ設計を企画から関わらせていただきました。自由度の高い撮影に対応できるようにライティングを計算した11のスタジオセットは様々なニーズに応えていけるスタジオとして完成しました。また、花をテーマにしたスタジオセットでは、協会が取り扱う輸入高級造花を使用。日本フォトウェディング協会ではフォトスタジオの企画・設計・施工を行っています。

ご依頼・お問い合わせは日本フォトウェディング協会まで。TEL 093-953-6101 info@j-pwa.org

11セット18アレンジで撮影できる個性あふれるスタジオはドラマティックな彩りを考えて作られています。アンティーク調の家具やインテリア雑貨、ソファや大きな窓から外光も差し込み、季節の花々に囲まれた空間などまるで映画のセットのように細かな部分までこだわって作られているスタジオです。



(撮影:西谷詩織)

studio Botan
036-8003 青森県弘前市駅前町9-20 ヒロ口1F
TEL 0172-26-6370 <https://quown.jp/>



青森県産さくらんぼ「ジュノハート」指輪で永遠の愛を

地域限定ブライダルジュエリーでプロモーション。プロポーズの聖地に

2020年7月1日に全国デビューを迎える青森県産さくらんぼの独自品種「ジュノハート」をモチーフにした指輪が24日、県庁でお披露目された。香港のブライダルジュエリー企業と県のコラボ企画。ハートの形状やピンクといった果実の特徴を生かした、かわいらしいデザインに仕上がっている。開発関係者は「ジュノハートを通じて青森を知ってもらえたら」と期待を込める。

女性向けの商品作りを進める県の取り組み「あおもりKAWAIIギフト創出事業」の一環として開発した。ジュノハートは、女性の結婚生活を守る女神「ジュノ」に由来



していることなど、結婚のイメージに合っている。

ジュノハート コレクションには、婚約指輪と結婚指輪があり、イメージが異なる3種類を用意した。香港のブライダルジュエリー企業「FUTAGO (フタゴ)」が開発。

同日、開発担当者から説明を受けた青森県三村申吾知事は「幸せなカップルに届いてほしい」と笑顔で話した。(デーリー東北新聞社・2020/6/24掲載)

日本フォトウェディング協会では、これまでも2018年に北九州市ブランドジュエリー「門司港コレクション」、福岡市ブランドジュエリー「能古島コレクション」をプロデュースしている。



ブライダルジュエリー、ジュノハートコレクションは香港でも購入可能。デザインのモチーフとなった青森県産さくらんぼの収穫時期に合わせたプロモーションも予定しており、ジュエリーを通して青森県の魅力発信、周知につながっている。

フォトウェディングに適したウェディングドレスを発表

一般社団法人日本フォトウェディング協会

一般社団法人日本フォトウェディング協会(代表理事鶴留一彦:北九州市小倉北区浅野1-3-1)は、これまでにない、フォトウェディング撮影時のあらゆるニーズに応えていけるウェディングドレスの販売を開始します。

デザイン・スタイリング、ドレスの軽さ、サイズ表記もわかりやすい「S、M、L」とし、各サイズを前後3サイズ調節可能にした。(全ドレス背面で編み上げ式を採用。「S」でSS、S、Mの3サイズ対応、「M」でS、M、L対応、「L」でM、L、LLに対応)※参考:SS(5号)S(7号)M(9号)L(11号)LL(13号)。お問い合わせ:093-953-6101(衣装事業部)



青森県の食材を海外へ紹介、限定メニューで青森の認知度向上 「食」のPRから周知、ウエディングの誘客促進へつなげる

訪日市場向けウエディングツーリズムにおいて、フォトウエディング撮影の当日以外の滞在日の過ごし方の提案も重要になってくる。美味しい日本食を楽しむ、遊び、体験などそれらも魅力的なところが、ウエディング観光客に選ばれる。協会では県産品のPR、現地でのイベントなどをコーディネート、ウエディング観光客の誘致に取り組んでいます。

香港経済新聞2021年5月3日掲載

香港・黄埔にある定食店「米気 (MAI-HEI)」(Shop 32-33, G/F, Pebbles World (Site 3), Wonderful Worlds of Whampoa TEL 3543 1101)で4月20日、青森県の食材を使った期間限定メニューの提供が始まった。

「日本の食堂」を目指す同店は「一汁三菜」の和食スタイルで、「米」「主」「冷」「温」などのカテゴリーの中からそれぞれ8～10種のメニューを用意し、組み合わせて提供することで人気を集めている。これまでも福岡、宮崎、京都など県をテーマに特別メニューを提供してきたが、今回は初めて青森県の食材で期間限定のメニューを作った。

「これまでに実施したことがある九州のメニューだと、やはり肉がメインになることが多かった。しかし青森は海鮮、野菜などバラエティー豊かな食材を使うことができた」と、エグゼクティブシェフのドミニク (Dominic Li) さんは話す。「リンゴのイメージがどうしても強いが、たくさんの食材があることを伝えて青森を盛り上げたい」と意気込む。

青森の米「青天の霹靂 (へきれき)」の上に大葉を敷き、その上に青森では定番の食べ方でもある「塩漬海膽 (塩ウニ)」(38香港ドル)をたっぷり載せたご飯メニューが一番人気だという。香港では日本のウニ＝生ウニのイメージが強く、「塩ウニ」をこれだけ前に出すメニューはこれまで、あまり無かった。塩を振りかけるだけで、ウニの臭みが取れて濃厚さがこれだけ出ること

に驚く香港人も多いという。瓶状のため保存もでき、香港でも購入したいという声もあるようだ。

ウニと並んで人気があるのが「山神漁師炸帆立貝 (ホタテフライ)」(48香港ドル)。青森県むつ湾は、津軽半島と下北半島に囲まれ、外洋から守られており、八甲田山系のミネラル豊かな栄養分が流れ込むため豊富なプランクトンが発生する。香港でもホタテも人気だが、フライにするというイメージはあまり持っていない人が多い。揚げ物自体は好きな香港人に向けて、同メニューを採用したという。

ほかに王林とトモロコシのサラダ「青森粟米蘋果沙律」(28香港ドル)には、県産の糖度18度以上の甘いトモロコシブランド「嶽きみ(だけきみ)」を使う。青森側からは天ぷらにする食べ方も浸透していると聞いたが、既にホタテの揚げ物があったことと、香港の場合、野菜を天ぷらにしまうと安いものだと感じてしまう可能性があることから、生で食べることができるサラダにした。甘めの茶わん蒸し風の卵豆腐「鱈魚子玉子豆腐」(32香港ドル)も県民が「おふくろの味」と親しみ、どこのスーパーにも売っている品で、シイタケやタケノコなどの具も入っているものにイクラを載せた。

デザートには王林のシャーベット「青森蘋果雪芭」(32香港ドル)を手作りする。これが最も手間が掛かるものといい、果肉もしっかり感じられる「しっとりとした」シャーベット

に仕上げた。全ての青森メニュー5種を提供するセットは178香港ドルに設定する。【香港経済新聞より転載】

誘客プロモーション・イベント企画など、

ご依頼・お問い合わせは日本フォトウエディング協会まで。

TEL 093-953-6101 info@j-pwa.org



事業成果報告

2019年下期から、2021年上期までに(一社)日本フォトウエディング協会が主体となり実施した主な事業成果報告

青森県青森市「プロポーズの聖地認定、青森県観光連盟へ授与式」。日本フォトウエディング協会(鶴留一彦代表理事)は、青森市の県観光物産館アスパムとその周辺エリアの「ベイ・アスパム」をプロポーズの聖地として認定し、17日に県観光連盟に対して認定証を授与した。同協会による聖地認定は国内2例目となる。同日、アスパム館内で認定証の授与式が行われ、鶴留代表理事から県観光連盟の高坂幹専務理事に認定証と記念の盾が手渡された。」(陸奥新報・2019/12/18掲載)

2019年度、国土交通省九州運輸局共同事業「香港FIT市場向けウエディング誘客デジタルプロモーション事業」。本事業では、『ウエディングツーリズム』に特化したWebサイトを制作し、九州の魅力をPRする情報発信を行い、香港ウエディングフェアにも出展することで九州の魅力をダイレクトに伝え「興味・関心」を、具体的な「プラン作り」に引き上げ、九州への誘客を促すために実施しました。連携先自治体：熊本県上天草市、熊本県人吉市 WEBSITE: <https://www.tripshare.jp>

東北運輸局共同事業「香港ウエディングツーリズム市場向け誘客プロモーション事業」。冬の東北ならではのウエディングスポットや自然景観、食等の周辺観光の情報発信を行うことでウエディングツーリズムの目的地としての東北の認知度を高めるとともに、誘客促進を図った。香港ウエディング展示会出展・KOL招請事業

京都府舞鶴市、香港人カップル・リーガルウエディング第一号受理。2019年11月27日(水)世界遺産である京都・上賀茂神社でのインバウンド挙式のプロデュース及び京都府舞鶴市において初めてとなるリーガルウエディング申請のサポートをおこないました。さらに申請後は、香港よりサプライズで挙式に参列されたご家族、ご友人との会食にて京料理を愉しまれ、一日を通して京都の魅力を存分に堪能。TAKAMI HOLDINGS株式会社

掲載記事の二次利用・転載・複製について：

JPWA会報誌の記事・写真(著作物)の利用については、著作権法(第20条・第48条)で保護されています。紙面、ホームページに掲載された記事、写真、イラスト等を利用する場合は、(一社)日本フォトウエディング協会の許諾が必要になります。著作権者の許諾なしにコピーすることやネット、メール、FAXなどで利用することは違法となります。二次利用また、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め(一社)日本フォトウエディング協会までご連絡ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記して下さい。

日本のウエディングを紹介、訪日旅行の魅力を伝えるWEBSITE公開。独立行政法人国際観光振興機構(以下「JNTO」)の香港市場に於ける訪日プロモーション事業の一環として20～40代の夫婦・カップルに向けて訪日旅行の魅力を伝える特設ページを制作。日本フォトウエディング協会がアドバイザーとして協力。WEBSITE: <https://welcome2japan.hk/>



香川県フォトウエディングコンテンツ造成事業。香川県を代表するコンテンツであるアート、島旅などを目的地として「香川」「瀬戸内」のブランド構築と認知度向上を目的とし、本事業で香川県のフォトウエディングコンテンツを造成した。コロナ後のウエディングを目的とした誘客を図る。

シニアフォトウエディング。一般社団法人福岡県北部古民家再生協会が実施したシニア層に向けたフォトウエディングの取り組みに、日本フォトウエディング協会でもモニター募集・撮影を行った。シニア層になにを訴求して需要を喚起できるか、「シニアフォトウエディング」の認知向上を図りながら、フォトウエディングで新たな「まちづくり」の実現へ。





A GROUP OF LOCAL AUTHORITY AND WEDDING COMPANIES IN JAPAN
フォトウエディングを新しい結婚のスタイルとして成長循環を創り上げる

一般社団法人日本フォトウエディング協会

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目1-3-103

TEL: 093-953-6101 EMAIL: info@j-pwa.org WEBSITE: <https://www.j-pwa.org>

【フォトウエディングと観光検索サイト】<http://www.japan-weddings.com/>

【ウエディングツーリズム：トリップシェア】<https://www.tripshare.jp>



【フォトウエディングと観光検索サイト】

JAPAN WEDDINGS



【ウエディングツーリズム：トリップシェア】

TripShare